

Webブラウザを用いた

Web ページにおける調和配色システムについて

On a harmony color scheme system of a web page using a web browser

大園忠親† 伊藤孝行† 新谷 虎松† 早川潤一†

Tadachika Ozono, Takayuki Ito, Toramatsu Shintani, Junichi Hayakawa

1 はじめに

カラーハーモニーのある景観、道具類、包装紙、ポスター、およびプリント柄など色彩による調和感を得たデザインや配色の重要性が高まりつつある。近年、個人の Web ページが一般的になっている。個人の Web ページは個性がよく反映されたデザインが好ましい。Web ページにおける配色はレイアウトとともにデザインを決定づける重要な要素の一つである [1]。Web ページの配色には HTML の知識や Web デザインに関する知識が必要であり、経験や知識の不足したユーザが、自分の想像通りに Web ページを作成することは困難である。

配色に関する研究として、服のコーディネートに対する配色支援を行う研究があるが [3]、ユーザとのやりとりでユーザの好みを獲得し、個人の感性に対応させている。また、ロゴマーク、タイトルおよびイラストといった画像を対象として、配色における支援手法が提案されている [4]。

Web ページの配色決定の負担を軽減するために、Web ページデザインにおける配色支援システムを試作した [2]。通常、Web ページの配色を行う際には、編集、保存、および確認などといった作業を必要とする。配色支援システムでは、Web ブラウザをインタフェースとして、Web ページを閲覧している状態から直接 Web ページの配色を変更することが可能であるので、ユーザの配色作業を軽減することが可能である。また、デザイン経験の少ないユーザが感覚的に理解しやすいカラーモデルを用いることで色の決定を容易にしている。図 1 に配色システムの実行画面を示す。配色システムは、図 1 に示すように、Web ページ全体の配色を同時に変更する機能、および部分配色変更機能を有している。

本論文では、配色システムを用いることにより、Web ページの配色決定の際にユーザの感性の反映を支援し、調和のとれた配色を適用する「Web ページにおける調和配色システム」を提案し、その実現方法を示す。

本稿では、第 2 章で本システムの概要について述べる。第 3 章で調和配色の決定手法について説明する。最後に第 4 章で本研究をまとめる。



図 1: 配色システムの実行画面

2 Web ページにおける調和配色システム

調和配色とは、色彩調和のとれた配色をいう。色彩調和とは 2 色以上の色を組み合わせ、色彩のバランス、美しさ、または心地よさを作り上げていくことである。色彩調和論を参考にして、色相に関する共通性、および対照性、明度と彩度に関する共通性、および対照性をもたせることで調和した配色を得ることができる。また、本稿では、ユーザのイメージする語に基づいて配色したものについても調和配色という。イメージ語とは、色のイメージを系統だて、人の感性を表す語のことである。例えば、「はなやか」「おだやか」「さわやか」などといった語である。本システムでは、ユーザが選択した HTML タグ、およびイメージ語を用いる。ユーザが選択した HTML タグの色情報を基準の色とし、イメージ語に基づく 3 色を決定し、調和のとれた配色としてユーザに提示する。

調和配色支援を Web ページ上で実現する上で、Web ページのリロードなどによってユーザの作業を中断しないことが重要である。このようなアプリケーションを構築する場合、調和配色を計算するような複雑な部分をサーバ側に用意する必要がある。一般的には、サーバ側に要求を送り、その結果を受け取るために、Web ページのリロードが必要であるため、ユーザの作業中断を避けることが出来ない。本システムでは、Web ユーレントシステム MiSpider[6] を利用することで、このような作業中断を避けることが可能になった。

†名古屋工業大学 大学院工学研究科 情報工学専攻
Dept. of Computer Science and Engineering, Graduate
School of Engineering, Nagoya Institute of Technology

